

というような診察、泌尿器科的な診察もそこそこ必要だということになります。

まゝこのものが線維化したうんぬんと言うのがあった。でもですね、殆どの場合が機能的か器質的かって言うのは、まゝもう硬くなって言うことをきかないかどうかって言うことはともかくとして、今は複雑な検査をする前にもう薬を飲んじゃっていいという時代なんですね。考え方が極めて安全で投与できるということが学問的にチェックさえすればわかっているんで、他の治療する前にもうこういうのは飲んで言いぞということで、大体7・8割は効きますね。それから私の所でもまゝ三条が近いからあんまり近いとこないかもしれないですけど、15人から20人位の方がこういう薬を服用されていますよね。効かないという人は殆どいないですね。こういう薬が一定の服用の仕方さえ守ればまず投与可能な人は、99%こういうのは効能があるですね。効能ある画期的な薬ではあります。

そうしてみると、原因を問わず70%と言うんですけれど、これはちょっと低すぎるので、当初はそれぐらいだったので今はもっともっと効くという印象ですね。まゝそういう訳で今度この具体的にですねバイアグラって言う薬が今、「市販」とまで市販に近い状況でしょうかね。保険適用外ではあるんですけど、これが使われてそこそこの成績が上がっている訳です。

じゃこの薬はどういうものか、ということになりますね。というのはさっきからお話ししているように海綿体、陰茎に対してあのペニスに対して血の巡りがある訳ですけど血の巡りが増すって言うことはどういうことかということ、血管が開くということなのです。そのため血管が開くのには一酸化窒素と言うんですけどそうゆう風な一定の物質がですね血管を開かせる。そういうような働きかけをする訳ですけど、そうすると血管が開く。それで血が多くいく。それを多く血を消すような物質がやっぱり出てくる、バランスです。

血が多く言ったらそこそこに戻らなければならない。バイアグラって言う薬は血をいかせるのを邪魔するのですね、ですから血をいかせる訳じゃなくて血が引くのを邪魔するのですね。ですから血がいくようなりビドーと言うか、その気になって、その気になる力が頭にあって、下の方にそれだけの連絡が行けば確実に効くんだと。

ただ血管が開かないほど硬くなっている、ですからここ薬が効かないって言ういろいろな理屈がつく。血管が硬くなってくるほど老化が著しくなってくれば、効きにくいということです。そうすると本当は薬をやって効くか効かないか試してからやれば一番いいんですけど、この薬は要はあの心筋梗塞って言うか狭心症の方に二重にかなければ安全だともう分かっていますから、それさえなければ十分投与が可能なんですね。狭心症の方が心臓に要するに心筋梗塞とか狭心症の方が飲むと血の巡りがよくなっている所にもう一回こういうバイアグラという似た薬がいくと、血管がもっとどンドン効いて血圧がストンと下がるんですね。

そういうことでこの死亡事故がある訳で、どうもそれさえなければこの薬はまず適用が危険な人と言うのは殆どないということが分かってますから、先に飲んでしまっている。その狭心症の発作さえ起きない人はもう飲んでしまっているんだということがもう分かっている訳です。

後でそうですねポイントはというと、あまり面倒くさいことお話ししても意味がないんで、要はその気にさせる薬じゃないということがまず一つで、この薬を飲んでその気になるんではないんですね。その気になるのは頭からその情動と言うかそういう連絡が下の方へいくんで、それでその頭、背骨の神経が達していなければこのようなリビドーと言うかな、リビドーに関しては頭のその気になるについては催淫剤、怪しげないいろいろなものが昔から言われていますから、あるいはその気になるには頭の方にたぶんホルモンとかなんだかんだ神経学的に効くヤツがあるんでしょう。でもバイアグラって言う薬は局所にしか効かないんです。だから、その気にさせる薬ではないということです。そして血の巡りを多くさせて、そして血の多くした状態を保持するという。血の

も非常にいい会社なもんですから、これは画期的にアメリカでは売れていますし、日本ではまだ文化の差があってちょっとこういう薬の需要が思いのほか伸びていないと言うのがファイザー社の話しのようです。

でもまゝ文化的な違い、人間の生き方の違いがあるんで、いかんともどうなのかなあと思ってますけれども、今日はとにかく皆様方が暗い所でコソコソ話をする程度のことで面と向かって、学問としてこういうものが正しくは言っていないように思うんですから私の方はとにかく学問として勃起不全とは何なんだ、どう対応と言うか、どうやったら人生を楽しく生きていけるのかと、その一助にして頂ければと思って今日これから話をさせて頂きます。そういう訳で、今E D（Erectile Dysfunction）という風に言います。日本の性機能学会というものがあまして、4回あったらその内の3回以上で上手いかない。でもそれはもう無視です。本人が上手いかないと思えばやっぱりこれはE Dと考えてよろしいと。

ですから、例えばこれに対して何らかのもっと良くなりたいと要望があれば如何様の対応もしていけるだろうし、いくだろう、いくべきだ、と言うのがこれはもうコンセンサス。今の日本医師会長はですね、このE Dに対してですねこれは病気じゃないから保険適用させないと言っています。これはなんとも言いがたいんですけど、アメリカでは保険適用になっているんです、一部。ですからこういうものに対する薬物治療うんぬんはアメリカでは保険適用。これはやはり文化の差でしょうかね。日本では「これは病気じゃないんだから保険適用はさせない」と今の医師会長は言っています。それは時代の差で、医師会長もだいぶ年だから、日本医師会長ですよ。言ってますんで、今後変わってくる可能性はあります。そういう訳で満足いかないと、本人の問題ですから何パーセントなんてことは言いません。

じゃ勃起するって、起って言うことを利くとは何なんだということになります。これはとにかく情動、頭ですね。まず見る、聞く、触る、触られる、こういう情報が入って頭の方がその気になる訳ですね。その気にならなければ、これはことが起きません。心が移って行動に移る訳です。頭の方がその気になる情動、これに対して見る、聞く、触る、触られる、それに対する感受性それはまゝ男性ホルモンとかいろいろなことがあるんですけど、催淫剤とか、その気になればいろいろな薬もあるようですけど、今言われているバイアグラは、頭には効かないんですね、その気になる薬ではない。ですから疲れていて女の顔を見ても起たないというこういう人は、もう何してもさしあたりそっちの方から治療するもんだと。頭がその気になった時に、頭の連絡はどう動くのかと。頭から神経を介して、神経を介す訳ですから、頭が見る、聞く、触る、触られるに対して、きちんと反応しないといけない。頭が感じたらそれが局所、ものにですね伝達しないとけない訳です。伝達の情報が神経につながっていますから神経が切れればいけない訳です。神経もまた異常に、微妙に影響する訳です。大脳が見る、聞く、触る、触られるを感じて視床下部から局所に向けて神経伝達がいくと。

神経の伝達がいくと、陰茎はですね血の巡りがとにかく多くなることによって勃起が成立する訳です。海綿ですから水をいっぱいしめらして海綿を外からビニールで縛っているようなものですね。縛ってなおかつ水をいっぱい入れれば硬くなる訳ですね。水を入れたら抜けていけばダメなんですね。ですから入れたものがそこそこに滞っていてはじめて硬くなる訳です。

ですから昔から、硬くなったら、何でもいいから硬くしたら輪ゴムで絞めろ、これは正しいですね。たしかに言ったものを返さない訳ですから。ただいつまでもその状態にしておけば、これは壊れます。ですからその気になって神経の末端から、この実は陰茎の血管の平滑筋と言うんですけれども、血管の平滑筋が緩むんですね、要するにチューブが緩んで血がいっぱいいく、外は締め付けて硬いもので繊維で抑えていますから勃起が成り立つ。血管が開く情報がいく、この時に情報がいい

くのが一酸化窒素と言うヤツで、実はこの情報がいく伝達物質が心臓と近いんですね、とても心臓と近い。心臓と近いから心臓の病気の時にうんぬんということが後で出てくるんですけど問題になってくる訳です。

頭が働く、抹消の神経にいくと、そして血管が開いて血が流れてそこそこに滞って、一定時間滞ってその気が終わると頭がそういう情報を出さなくなります。気があって頭から神経伝達で血管を開けやと言うのが言っていますから、気分が終わったということで離れてくれないと邪魔な訳です。いつまで経ってもズボンを履けませんからね、これは困る訳です。そうすると頭の気には、男性ホルモンが参加している。今度下の方が血管が開く、これは柔軟性なんですね。

柔軟性ですから、これは年をとればみんな腰のキレが悪いしゴルフに行ってもキレないでしょう、きっと。で、下に手をつけと言ってもつけませんから、そう言ってみると血管の柔軟性が老化ですよ。早く老化させるには、糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満です。これはタバコを吸うとダメなんですね。今日はさすがに灰皿がないなあと、おっ、いいなあと思って感激したんですけども、大抵の所に行くと灰皿があるんで、私タバコがきらいなんです、関係ないんですけど。タバコは末梢血管を収縮させますから、柔軟性を失うと言う意味では成人病の類は全部ダメです。組織がスマートに反応するには全体の軟らかさがないとダメです。頭もそうですけど、組織は露骨にそういうことに反応する訳です。この原因として何があるんだという、今言った心疾患、高血圧、糖尿病、高脂血症。

後で気持ちの問題が出てきます。毎日仕事が上手いかなきゃ、見るのも、触るのもいやになりますから、やっぱり気分が整わないとこれはやっぱりその気にならなければ絶対起ちません。起させるだけならできます。けれどもそれは意味がない訳です。そうしてくるとその他ですね、過度のアルコールストレス、こういうものが頭にきている。もし上手いかなんと言うのがどういう原因で言っているのかなあということを診察、それはやっぱりそこそこ医者が一定の診断の基準にそって、じゃこの方はどこが上手くないか、じゃこっちの方が頭から上手くなければそれはコンサルテーション、気分を整えるような診療、これ日本に医者いないんですよ。皆さん良く勘違いして頭というとすぐ精神科、神経内科うんぬんと言うんですけど、実はこのコンサルテーションする医者が日本は殆どいないんですね。何でかと言うと日本の医療制度、お話をしてもタダなんですね、殆どタダですから。まあ精神科でそういう人の心を診て、しかもある程度年齢の方、自分より若い医者の話まず聞きます。

壊れていればそこそこに話を聞くんですけど、気持ちを開いているとなると日本という文化的に非常に遅れていますから、まあ残念なんですけどこっちの方にきた人は東京あたりに行くところそこいらいろいろいるんですけど、何でもという訳にいかないでストレスの類はまだ治療としてむずかしい所があります。そういう訳でその勃起しないと言うのは機能性、頭の気持ち。機能性、ここが壊れている。血の巡りが悪いという別の病気があるのでそう言うのは診断をするということです。今、巷に言われている非常に画期的な薬バイアグラと言うのは、どういう薬かと、とにかくこの血の巡りを増やします。ですからこの機能性であれそれから器質的であれ、必ずそこそこにきます。ただ効くためには効く条件があって組織の柔軟性がないと効かないと。それが診断にいく訳です。

次ですね、どう考えていくかということになります。バイアグラが登場するまでに何していたという催淫剤とか、うんぬんあったし、輪ゴムで止める、後でバキュームですね、そのここに陰圧をかけるんですね。チンチンに陰圧かけて吸引すればそこそこに先っぽ膨らんできます。要するに陰圧かければ中が当然膨らむ訳で、根元を絞める。でも根元を絞めるということは、ここに輪ゴムで絞めるヤツがありますから性交に邪魔ですね。これちょっと上手くない。でも相手の同意があ

から、そこそこに心負荷と言いまして性交するに実はこれくらいの運動までできる人はいいよと。まあここにいらっしゃる方は十分そんなことをしなくても問題ないと思うんですけど、例えば性交すると、あの脈がですね60〜70のヤツが120位まで上がるんです。皆さん、早歩きすると110位まで上がるんですよ、で、内科の先生の運動処方と言うのがあるんで山本先生から後で聞いて頂ければわかるかと思いますが、良く適当に動きなさい早歩きしなさいなんて言う時には、実はこの一番の基準は、心臓の脈の数、脈の数がいくつになったらやりすぎだとうんぬんが出てきますから、心臓がどの位まで耐えられるか、運動負荷、これ一定水準でOKじゃないと治療ができない。ですから体力に自信のない方、休んでいたような方は検査の次に出てくる訳です。

そうすると疫学、高血圧同じレベル一定の方がそのようなことで治療を受ければいいということがわかる。で検査、じゃ医者はどういうことを考えてこういう薬をおあげしたいと、おあげしたらいいのかと。50歳未満の方は何もしてお話だけで実は投薬可能です。まあ血圧診て生きがいいか誰が見てもわかりますものね。入ってくるまでやっと歩いて来るか、元気良く来るかお話ししてみれば、表情見れば、そこそこのはり見てうんぬんで、50歳未満の方殆ど検査いりません。ですから血圧計って見れば今まで病気したかどうか、固定したパートナーがいるかぐらいのことでまずOKなんです。一般的な健康状態がどうかということで、血圧診たりうんぬんということが出てくる訳です。それからただですね、この今日本の政府はさっき言ったようにケチですから、日本医師会長もそういう考えですから、病気として見ていないですね。病気として見る文化あるんですけど、日本は病気として見ていません。そうするとこういうバイアグラなどというお薬をおあげする時は保険診療と言うのがきかないですね。

今皆さん保険の本人であれば大抵の病気であれば、2割本人が支払う、8割が保険給付と言って健康保険組合が払うと言うのが普通です。尤も5倍かかるんですね、5倍。検査したりなんだかんたりしたりするとみんな5倍、自費になりますから5倍かかるということになります。尤も皆さんがですね本当に必要な検査を受けることにより、そこそこに結構お金がかかるということがあるのだということになります。50歳未満は人間ドックの結果などを持ってきてうんぬん、血圧診て血液の検査うんぬん、いっぱい書いてあるんですけど、この薬が導入された時にいっぱい検査しましたね、というのは最初の人とはみんな実験台なんですね。日本で日本人に果たしてこの薬が安全うんぬんかどうかと言うのは、それらの資料を集めてどのくらいの人が安全に投与できたか、アメリカではこれ保険もきいたし、かなり粗雑人間ですから、人間の体も粗雑ですし精神も粗雑ですから、こういう薬飲んでアメリカだけで200人位死んだかな。で、世界的に約600人位死んでいます。いいんですよ、それ本人の自己責任ですから。ただわからないで自己責任は申し訳ないんで、やっぱり両刀の剣ですから、必ず反対の副作用があるので死ぬかもしれないという人にやったのも悪いし、飲んだのも悪いんですけど600人位死んでいます。

日本では公式の発売になったから殆ど死亡例はないはずですが。ただ新宿あたりで売っているのは本物が偽物かわかりませんし、人が飲んでいるか分からないんで、ちょっと健康に自信ない方はこういうことを全部確認してからやらなければならないということなのです。こうしてみると、この人間ドック、一定の検査をやってみて心臓がちゃんと動いて血圧だうんぬんだとチェックすれば、こういう風なものがですね治療として成り立つんだということですね。

そうしてみると後で今度器質的と言って、こういう治療が全く上手いかない人もいるんですよ。それでこれ起ったからといって横を向くとかまっすぐいかない人笑うでしょう。あるですよ、これちゃんとあるんですよ。そういう微妙な病気がですね、お年をとってくるとこのペニスを包む硬い皮がですね硬くなってきて一方向が硬くなる。その硬くなった方を向いちゃうんですよ。ですから上向きになったり横向いたりする方がいる、そういう方はちょっと危ないんで、そう